



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第124号
平成30年12月号

『感謝』

11月10日(土)。心配された天候も見事に回復し、「杭州日本人学校 創立10周年記念式典」および「学校学習発表会」が執り行われました。当日

12月

は早朝より在上海日本国総領事館・片山総領事を始め杭州商工クラブ前原会長、蕭山日商クラブ高山副会長や歴代運営委員長、多紀初代校長、運営委員の皆様にご参列いただきました。また中国側からは、杭州経済技術開発区管理委員会・何銓寿副主任を始めとする多くの来賓の皆様をお迎えできたことを嬉しく思います。



式典は運営委員長や生徒会長の挨拶と進み、最後には中学部の「杭州太鼓」が響き渡りました。少人数ながらも人数を超えた迫力のある響きに会場は荘厳な雰囲気になりました。さらに式典後には、国立極地研究所の特任教授であり前所長でもられる白石和行先生の「南極とわたしたち」という記念講演を聴くことができました。地球環境や国際的な視野を踏まえて日々学んでいる本校の子どもたちには大いに刺激になったことだと思われます。大人にとっても貴重なお話でした。



引き続き行われた学習発表会では幼稚部から中学部までが学習や練習の成果を発揮して一生懸命に演じていました。展示の部も併せて、アンケートで寄せられたご意見をもとに来年度はさらに内容を充実させてまいりたいと思います。



10年前を知る来賓の皆様からは「学習発表会の子どもたちの様子を見て大変感動した。この10年は本当に価値のある年月だった。素晴らしい学校となってきた。さらに20年を目指して発展してほしい」という嬉しいお言葉をいただきました。



さて、早くも12月です。年末年始を日本や海外で過ごす人も多くいますが、災害の多かった今年を振り返り、いろいろな意味で来年に向けての準備をしっかりと、安全で楽しいクリスマス・お正月をお過ごしください。



の多かった今年を振り返り、いろいろな意味で来年に向けての準備をしっかりと、安全で楽しいクリスマス・お正月をお過ごしください。

